校長だより 橋小っ子 令和７年９月２６日号

運動会に向けて

Let's　enjoy ～心のバトンをつないで～

これは高学年の学級からの意見を吸い上げ、代表委員会が決めた今年の運動会のテーマ。「１年に１度の運動会をみんなで楽しもうという思い、１～6年生までの全員が心を１つにバトンをつないで駆け抜けようという思い」を込めているそうです。この素敵なテーマのもと、子どもそして教職員も共に運動会に向けて気持ちを高め、練習に励んでいます。運動会を「学級・学年・そして学校としての１学期の成果」として見てもらおうという思いから、秋開催に固定して3年目。今年も暑さは長く続き、外練習では日陰を利用したり、ミストシャワーを設置したりするなど熱中症対策をしながら取組を進めています。また今年度も若干の種目の変更を行い、2・4年生の学年種目は「走る」種目としました。例年通り6年生の親子種目、そして橋本音頭もあります。橋本音頭は保護者や地域の皆様と共に楽しみたいと思っています。

学校行事の中で子どもはその都度大きく成長します。運動会も子どもが成長する大切な機会です。身体を使う運動面はもとより、少し難しいことに勇気をもって挑戦したり、繰り返し練習することで苦手なことができるようになったり、友だちと励まし合ったり、競い合ったり、いい声掛けができたりと、精神面やコミュニケーション面でも大きな「成長」があります。教職員は子どもの「伸びしろ」を十分引き出せるよう、励ましや褒める言葉かけを大事にし、活動に向き合おうとする姿を応援しています。また当日の勝敗や活躍だけでなく、練習の過程を大事にし、「頑張ったね」「楽しかったね」と声を掛け合い、みんなが笑顔で心のバトンをつなげられる運動会にしたいです。ご家庭でもお子様との会話を大切にし、たくさん褒め、また励ましてあげてください。◊◊◊◊◊◊◊◊◊◊◊◊◊◊◊◊◊◊◊◊◊◊◊◊◊◊

5年生宿泊学習に行ってきました。

今年度の5年生の宿泊学習は、9月9日・10日の日程で「紀北青少年の家」で実施しました。フィールドサーチや野外炊飯（カレー作り）、キャンプファイヤー、マグカップ作りなどの体験だけでなく、自分で布団を敷いたり、多くの方が利用する施設を皆が気持ちよく使うための公衆道徳を身に付けることも大きな目標でした。普段の生活とは違う有意義な2日間でした。

◊◊◊◊◊◊◊１学期の締めくくり◊◊◊◊◊◊◊

早いもので１学期の締めくくりの時期を迎えています。運動会後は各学級で学習面や生活面での１学期のまとめと振り返りの取組を行います。以前からの取組である「学級づくり」に加え、今年度の学校の取組の一つとして「生活力向上部会」を立ち上げました。昨年度より意識している「家庭学習につながる取組を実施する」ことが発端となり、**家庭での「時間の過ごし方（基本的な生活習慣）」**も大事であるとの考えから、それを具体的な取組として実践していくためです。**≪運動≫≪食事≫≪睡眠≫**に関して、『健康・元気チャレンジ』に取り組んでいます。夏休みには≪睡眠≫≪運動≫を意識する取組を実施しましたが、今後も定期的に取り組んで行く予定です。学習面での締めくくりはもちろんのこと、「生活力」そして「学級力」の面からも振り返りをし、次につなげていきます。短いスパンで今の自分がどうであるかを客観的に振り返ることで、自分の成長を実感できるうえ、次なる目標も定めやすく、励みにもなります。

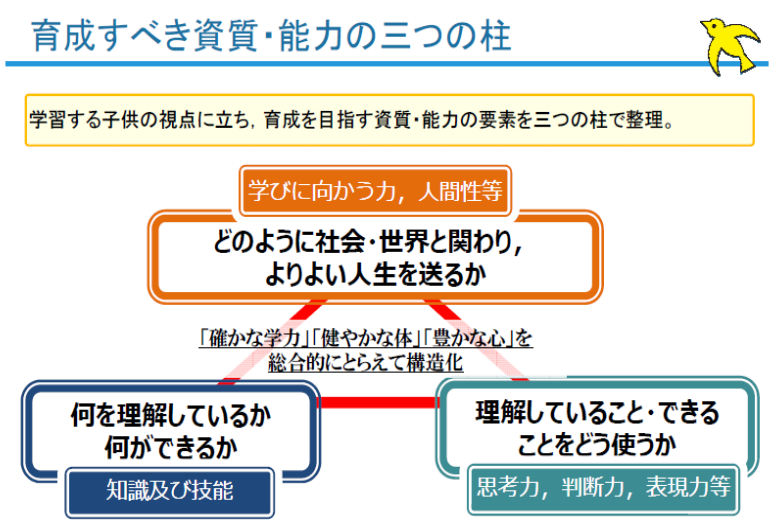
「生活力」につきましては、保護者の皆様と協力し合いながら実施することも大切ですので、ご理解ご協力をよろしくお願いします。また、これらのことも含め、１学期の子どもの成長を認め褒め、締めくくりを意識できるようなお声掛けをお願いします。

『学習指導要領』について　評価の時期でもあるので紹介します。

『学習指導要領』とは、文部科学省が全国どの学校でも一定の教育水準を保てるように定めている教育課程（カリキュラム）の基準です。これを基にして教科書や時間割が作られています。現在の学習指導要領には**「これからの社会がどんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。そして、明るい未来を共に創っていってほしい。」**という願いが込められています。学校で学んだことが明日、そして将来につながるように子どもの学びをさらに進化させ、新しい時代に必要となる**3つの資質・能力の育成**を目指しています。その3つとは、

〇学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」の涵養。

〇実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」の習得。

〇未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成。

学校ではこれらの育成を目指し、**「主体的・対話的で深い学び」となるような授業改善**と、**教育活動の質を向上させるための「カリキュラムマネジメント」**を2つの軸とし、取組を進めています。